

【会議録】

会議名	平成 29 年度 第 2 回鹿屋市スポーツ推進審議会
日時	平成 30 年 2 月 22 日 (木) 13 時 30 分～14 時 30 分
会場	601 会議室
出席者	委員 原口委員、森委員、安達委員、上甫木委員、岩元委員 遠矢委員、上村委員、西小野委員 市民スポーツ課 永山課長、中倉係長、前和田主事補
議事内容	(1) 平成 29 年度鹿屋市スポーツ奨励金交付者について (2) 平成 30 年度市民スポーツ課の施策について ①スポーツ環境づくりの推進 ②運動による健康づくりの推進 ③生涯スポーツの推進 ④競技スポーツの推進 ⑤スポーツ交流の推進 (3) NCAA かのやモデル推進事業について (4) 2020 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致に向けた取組みについて (5) 「燃ゆる感動かごしま国体」鹿屋市実行委員会の進捗について (6) その他
結果 まとめ	・議題 (1) について、鹿屋市スポーツ奨励金交付者について了承された。 ・議事 (2) について、平成 30 年度の市民スポーツ課の施策について了承された。 ・議事 (2) について、国体指導体制育成事業で強化選手から漏れた選手も指導が受けられるようなシステムを検討する。 ・議事 (3) について、事業内容、平成 30 年度実施事業について了承された。 ・議事 (4) について、誘致に向けた取組みについて了承された。 ・議事 (5) について、進捗状況、今後の取組予定について了承された。
概要 主な意見等	【主な質疑等】 議事 (2) ①スポーツ環境づくりの推進について 委員 施設の再配置について、平和公園の陸上競技場は改修する予定はないか。 事務局 再配置計画では、多目的のグラウンドに改修する予定になっているが、今すぐの改修は想定していない。 議事 (2) ②運動による健康づくりの推進について 委員 学校応援団事業とはどのようなものか。 事務局 学校が生涯学習課を通じて鹿屋体育大学に要請し、マット運動等、教師が実技で指導しきれないものを学生が補助するという事業である。

## 議事（２）④競技スポーツの推進について

### 委員

中学校の部活動において、顧問自身の競技経験の有無による指導力の違いで、子どもたちの上達具合に差が出てくる。これを補うシステムはないのか。

### 事務局

指導体制の構築（外部講師派遣等）の事業にあたる。体育大学生が時間のある夏休み等に部活動の補助につき、競技力向上のために指導をするというもの。年間延べ約1万人の学生が派遣されている。体育大学に相談の窓口がある。

### 委員

ジュニア選手の強化でソフトテニスを教えているが、強化選手から漏れた選手が鹿屋市内だけで40～50人おり、練習ができず、指導してもらいたいという声がある。ここでも体育大生の手を借りて、そこを補うシステムがあると良い。

### 事務局

検討します。

### 委員

外部講師派遣は、体育大学と直接やり取りをすればよいのか。

### 事務局

直接やり取りをすればよい。市民スポーツ課に相談をいただければ体育大学に繋ぐこともできる。

### 委員

スポーツボランティア制度について、ボランティアをするのに資格等は必要か。

### 事務局

資格は不要である。

### 委員

スポーツボランティア研修会の広報はどのようにしたのか。

### 事務局

市のホームページ、各競技団体等への案内などである。

ボランティアについては、まずはスポーツを支えていくために最低限何が必要かというのを研修で学んでもらい、後々、救急救命などの安全対策の研修でスキルアップを目指せばという考えである。

## 議事（２）⑤スポーツ交流の推進

### 委員

ホームタウンスポーツの推進について、シエルブルーが小学校の交通安全教室の支援を行っているが、具体的にはどのようなことをされているのか。また、中学校では行わないのか。

### 事務局

平成 29 年度は小学校の数校で行い、評判も良かった。交通安全協会の方々が説明をされたあと、シエルブルーが、安全な乗り方など自転車の乗り方教室を中心に支援している。ユニフォーム姿で行っているため子どもたちの興味もひいている。大きな学校では低学年が主である。

中学校では今年度はやっていない。交通安全協会と連携をとって行っているため、交通安全協会から要請があり、都合が合えばできるかと思う。

## 議事（３）NCAA かのやモデル推進事業について

### 委員

「かのや市民大運動会（仮称）」が行われるという話を聞いたが、この事業の一環か。

### 事務局

この事業の一環である。大学にいろいろな方が行ける機会を創出していこうということで、大学側にも先生・学生含めて動いていただいております、鹿屋市も市を挙げて、また、鹿屋市だけではなく、大隅全体でこのような事業に取り組んでいこうということである。

## 議事（４）2020 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致に向けた取り組みについて

### 委員

スロヴェニア柔道の誘致活動はどうなったのか。

### 事務局

スロヴェニア柔道は直接選手村に入るため、直前合宿はしないということである。しかし、鹿屋市はホストタウンの認定を受けているので、事前キャンプではないが、毎年行われる世界大会にスロヴェニア柔道が来る際に、鹿屋市で合宿をしてもらうなどの交流が続けられればと提案する準備をしているところである。

### 委員

タイのバレーボールがオリ・パラ事前キャンプに来ることもありえるのか。

**事務局**

オリンピックに参加できるかどうかはまだどの国もわからない状態だが、ありえる。人づてでいろいろなところにアプローチをしているところである。

**議事（５）「燃ゆる感動かごしま国体」鹿屋市実行委員会の進捗について**

**委員**

専門委員会は部門別に行われているが、委員会同士の意思疎通は図らないのか。

**事務局**

会自体はそれぞれの専門委員会で協議をしてもらうが、最終的にはみんなで情報を共有する形はとる。